



写真左から那須ライフ(株)三菅敦取締役、平山町長、薄井町議会議長（当時）

起工式 黒田原地区定住促進住宅 愛称も決定



2月22日、新婚・子育て世帯向けに町が整備する「黒田原地区定住促進住宅」の起工式が行われました。町、工事関係者、地元自治会長など28人が参加し、工事の安全を祈る神事などを行いました。

平山町長は、「子育て環境を整備し、若年層の定住を促進することができこの事業は、希望を未来へつなぐ大きな一歩であると考えます」と式辞を述べました。

設計・施工者である那須ライフ株式会社の上菅敦取締役は、「この住宅で安心・安全で快適な生活を送っていただきたい。また、この住宅整備を機に町の人口が増えますます発展されますよう祈念いたします」とあいさつしました。

町が募集していた同住宅の愛称は、30件の応募の中から、「子どもたちが美しい那須で未来に羽ばたく」ことをイメージした「ウイングヴィーナス」に決定しました。



第3弾 なすTeen's RADIO PROJECT 取材編～&生放送編～ 愛と努力の結晶「那須和牛」



中学生がRADIO BERRYのラジオ番組制作と生放送に挑戦する「なすTeen's RADIO PROJECT」。今年は、那須中央中学生5人と那須中学生2人の生徒が参加しました。



テーマは「那須和牛」。ワークショップでは、番組パーソナリティのくぼたあやのさんから、滑舌よく話す方法や取材の仕方などを学び、また、自分たちで、那須和牛の特長や、和牛の繁殖・肥育の仕事内容などを調べ、取材でどんな質問をするかを考えました。（2月号27頁掲載）

1月30日、現地取材へ。和牛繁殖農家の大平博一さん（上川）と大平さんの牧場で若手就農者として働いている井上侑紀さん（弓落）に、繁殖の仕事内容を聞き、「発情の見極めが重要なこと」「牛のお産が大変なこと」「毎日牛舎を清掃していること」など、牛に愛情をかけて育てていることを教えてもらいました。

また、肥育と繁殖を手掛けている角田充寛さん（廻り谷）からは「わらを細かく切ったり、墨の粉やミネラルを入れたりすること」「牛サを自家配合していること」「牛がのびのびと過ごしやすいように、牛と丁寧接していること」など、牛の育成における工夫やこだわり、努力していることを聞きました。

最後に、湯本にある精肉店「ミートショップ鶏春」で、那須和牛を取り扱っている大澤秀一さんに、「肥育農家の思いを受け止めて、お客さまに販売していること」「地元のお肉は、地元の方に



食べてほしい」との思いを聞き、那須和牛が食卓に届くまでには、多くの方の努力があり、思いがちながっていることを知りました。

2月21日の生放送では、生産者たちの牛に対する愛情や努力、自然豊かな町ならではの飼育環境、飼育の秘訣など、取材で知ったこと、感じたこと、考えたことを自分の言葉でリスナーに伝えました。

那須中央中3年の相馬心結さんは、「話すことが好きなので、この企画に参加しました。分かりやすく伝えることを学び、ラジオの生放送に出て、さらに話すことが楽しくなりました」と話し、充実感を見せました。